



ロボコンの舞台は「沖縄の海」

## 第7回 沖縄海洋ロボットコンペティション

### ご協賛のお願い

日本は広大な海域を有しており、海洋資源を活用した新産業の創出が進んでいます。沖縄近海にも多様な海洋資源が存在しており、沖縄21世紀ビジョンでは、次世代のリーディング産業として海洋産業を掲げています。

海洋産業における海洋ロボットの研究・教育等の活性化を目指して、「第7回 沖縄海洋ロボットコンペティション」を開催する運びとなりました。

海洋産業の振興と海中ロボット技術の発展に向けて、競技会では皆様のご声援・ご支援をお待ちしております。

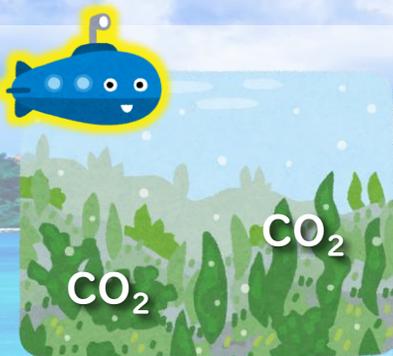
### 海中ロボット技術の発展がもたらす海洋産業の未来!!



#### 海中ロボットが養殖魚を管理する!

現在、沿岸の養殖場では遠隔操作型海中ロボット(ROV)が養殖魚の点検やイケスやアンカーの観察に活躍しています。

将来は、魚の形をした自律型海中ロボット(AUV)が、魚の様に泳ぎながら養殖魚の体調管理や給餌、イケスへの誘導に活躍することが期待されています。



#### 海中ロボットがブルーカーボン生態系を調査する!

ブルーカーボンとは、アマモなどの海草が光合成により吸収したCO<sub>2</sub>のことです。アマモが群生する藻場の生態系の保全・造成は、大気中のCO<sub>2</sub>濃度を減少させ、気候変動を緩和する手段となります。将来は、海中ロボットが海底を撮影して回り、藻場の成育マップの作成に活躍することが期待されています。



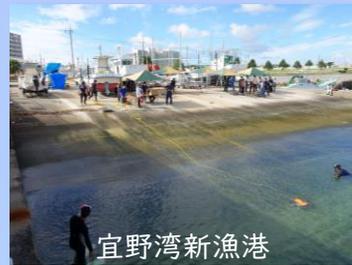
#### 海中ロボットが海底鉱物資源を発見する!

深海底には金、銀、銅等が沈殿する「海底熱水鉱床」、コバルトを含む岩盤「コバルトリッチクラスト」、希少金属を含む「レアアース泥」が分布しており、これら海底鉱物資源の安定供給に向けて開発が進められています。将来は、複数の海中ロボットが広い海底で協調行動し、地形や地質を調査することが期待されています。

# 第7回沖縄海洋ロボットコンペティションについて

- 開催期間 令和3年11月6日(土)~7日(日)
- 開催場所 ワークショップ会場: 宜野湾マリン支援センター  
(宜野湾市大山7丁目10-27)  
競技会場: 宜野湾新漁港(宜野湾市大山7丁目1350-81)
- 開催内容 別添「第7回沖縄海洋ロボットコンペティション概要」参照

※スケジュールは予定となります。  
※コロナウイルス感染症拡大状況により、オンラインで開催される可能性があります。



宜野湾新漁港

## ■第6回大会(令和2年11月開催)

昨年大会には、全国10校の大学・大学校(愛知工業大学、九州工業大学、東京工業大学、長崎大学、琉球大学 他)、から19台のロボットが参加しました。



AUV部門 最優秀賞  
九州工業大学  
「KYUBIC」



ROV部門 最優秀賞  
島根職業能力開発大学校  
「SeaLine」

## ご協賛について

### ■協賛金 1口: 10,000円

#### ●1~4口: シルバー

大会HP、ガイドブックおよびポスターに名称やロゴ(小)を掲載いたします。  
ワークショップ・競技にご参加いただけます。

#### ●5~9口: ゴールド

大会HP、ガイドブックおよびポスターに名称やロゴ(中)を掲載いたします。  
上記に加え、当日に協賛企業・団体として個別にご紹介いたします。

#### ●10口以上: プラチナ

大会HP、ガイドブックおよびポスターに名称やロゴ(大)を掲載いたします。  
上記に加え、HP上に動画や画像を掲載可能です。また、ワークショップ開催前に、参加者向けの企業プレゼン時間をご用意いたします。



大会HP、ガイドブック



ワークショップ



ポスター

### ■主催等

主催: 沖縄海洋ロボットコンペティション実行委員会  
共催: 沖縄職業能力開発大学校、沖縄工業高等専門学校  
琉球大学工学部、極東建設(株)

公式ページ・facebookをご覧ください



「沖縄海洋ロボコン」で検索!